

2016年度第3四半期 決算電話説明会

2017年2月10日



イオンフィナンシャルサービス

連結業容

	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	実績	期首比	実績	期首比	実績	期首比
① 連結有効会員数	3,773万人	+51	3,816万人	+94	3,861万人	+139
内、国内会員数	2,620万人	+32	2,644万人	+56	2,669万人	+81
② 国内稼働会員数	1,617万人	+24	1,637万人	+44	1,653万人	+60
③ イオン銀行口座数	509万口座	+16	525万口座	+32	539万口座	+46
内、セレクト会員数	370万人	+14	384万人	+28	396万人	+40
連結営業債権残高	40,054億円	+1,478	41,115億円	+2,538	43,340億円	+4,763

①国内有効会員数

- ・ダイエー募集や委託募集など、都市部の募集を強化
- ・SNSを活用した入会キャンペーンなどの実施により、ネット経由での入会比率が増加

(単位:万人)	実績	構成比	期首比	構成比
首都圏	558	21%	+23	29%

②国内稼働会員数

- ・イオン店舗でのポイント付与率2倍で利用促進
- ・WEB明細:373万人(期首比+50万人、月間稼働率61.1%)
- ・年間稼働率66.7%(期首比+0.3pt)
- ・カードショッピング取扱高:3兆3,574億円(前年同期比+10%)

③イオン銀行口座数

- ・普通預金金利+0.1%の0.12%となるイオンカードセレクト会員が増加
- ・普通預金残高:約1.3兆円
(期首比+5,660億円)

連結およびエリア別業績

(単位:億円)	第3四半期累計		
	実績	前年同期比	増減
連結経常収益	2,745	104%	+95
国内	1,946	111%	+193
海外	829	90%	△97
構成比	30%	△5%	-

連結経常費用	2,322	104%	+95
連結経常利益	422	100%	+0.4
国内	294	109%	+24
海外	152	85%	△26
構成比	36%	△6%	-

親会社株主に帰属する当期純利益	258	110%	+23
-----------------	-----	------	-----

※エリア別業績数値は連結消去前

トピックス ※()内は前年同期比

- ・カードショッピング収益:651億円(+22億円)
- ・カードキャッシング収益:473億円(+38億円)
→稼働口座数:125万口座(期首比+7万口座)
1人当り残高:31.1万円(期首比+0.5万円)
- ・債権流動化収益:77億円(△15億円)
→住宅ローン:68億円、オートローン:8億円

・為替による収益影響:前期為替レート比△146億円

- ・資金調達費用:40億円(△7億円)
→普通預金へのシフト推進
- ・営業経費:1,290億円(+115億円)
→人件費:342億円(+26億円、収益比18%)
→ポイント費用:163億円(+43億円)
→外形標準課税の適用:税金70億円(+17億円)
- ・利息返還損失引当金の繰入:7億円(+7億円)

- ・人件費:128億円(△10億円、収益比16%)
- ・貸倒費用:220億円(△22億円、収益比27%)
- ・為替による利益影響:前期為替レート比△28億円

セグメント業績

(単位: 億円)		第3四半期累計		
		実績	前年同期比	増減
クレジット事業	経常収益	1,290	111%	+132
	経常利益 (経常利益率)	297 (23.1%)	116% (+1.0%)	+41 (-)
銀行業	経常収益	404	112%	+43
	経常利益 (経常利益率)	10 (2.6%)	40% (Δ4.6%)	Δ15 (-)
海外業	経常収益	829	90%	Δ97
	経常利益 (経常利益率)	152 (18.4%)	85% (Δ0.9%)	Δ26 (-)
フィナンシャルビジネス等	経常収益	404	111%	+40
	経常利益 (経常利益率)	30 (7.6%)	122% (+0.7%)	+5 (-)
調整額	経常収益	Δ183	-	Δ22
	経常利益	Δ68	-	Δ5
連結合計	経常収益	2,745	104%	+95
	経常利益 (経常利益率)	422 (15.4%)	100% (Δ0.5%)	+0.4 (-)

トピックス ※()内は前年同期比
<ul style="list-style-type: none"> ・カードショッピング取扱高: 四半期毎に伸び率増 → 四半期別推移: 1Q+8%、2Q+9%、3Q+12% ・個品割賦取扱高: 1,706億円(+20%) ・キャッシング残高: 4,260億円(期首比+204億円) ・カード債権貸倒費用: 110億円(+15億円) → 債権残高対比で安定推移
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅ローン実行額: 2,614億円(+1%) → 1Q+26%、2QΔ10%、3QΔ16% ・小口ローン残高: 721億円(期首比+103億円) → 四半期比: 1Q+48億、2Q+34億、3Q+19億 ・フラット35を直営店舗で取扱い
<ul style="list-style-type: none"> ・香港: 減収増益(現地通貨ベース) → 販管費や貸倒費用を抑制 ・タイ: 増収減益(現地通貨ベース) → 前国王が逝去、営業・回収活動を抑制 ・マレーシア: 増収増益(現地通貨ベース) → 貸倒費用をコントロール
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マネー取扱高: 16,488億円(+4%) ・フラット35の銀行への移管影響をACSリース連結化、WAONPOINT受託収益で補完

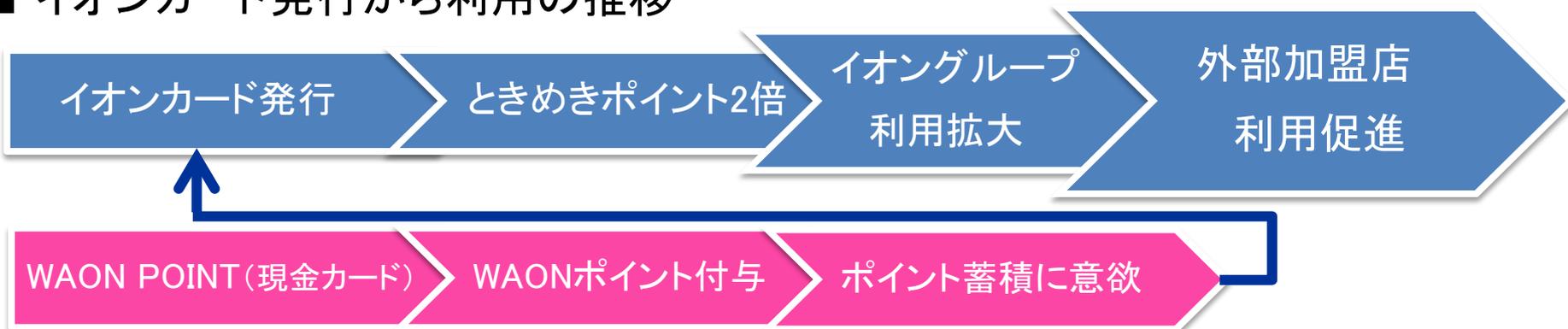
連結貸借対照表

連結(単位:億円)	実績	期首比
現金預け金	5,265	+816
貸出金	1兆7,509	+769
割賦売掛金	1兆2,571	+2,347
貸倒引当金	△523	△29
その他の	6,839	+302
資産合計	4兆1,662	+4,207
預金	2兆4,750	+3,221
有利子負債	7,684	+77
利息返還損失引当金	17	△24
その他の	5,390	+521
負債合計	3兆7,842	△3,796
純資産合計	3兆8,198	+410
負債及び純資産合計	4兆1,662	+4,207
自己資本比率 (国内基準)	8.09%	+0.67%

トピックス ※()内は期首比
<ul style="list-style-type: none"> 国内残高:4,977億円(+781億円) →年末年始のATM、キャッシング需要へ対応
<ul style="list-style-type: none"> 国内残高:1兆5,078億円(+721億円) →無担保ローン:4,982億円(+307億円) ※住宅ローン(流動化込):1兆3,458億円(+1,897億円) 海外残高:2,481億円(+26億円)
<ul style="list-style-type: none"> 国内残高:1兆456億円(+2,294億円) →カードショッピング:7,244億円(+1,146億円) →個品割賦:3,212億円(+1,147億円) 海外残高:2,114億円(+53億円)
<ul style="list-style-type: none"> 支払承諾見返:1,469億円(△196億円)
<ul style="list-style-type: none"> 普通預金:1兆2,822億円(+5,660億円) 定期預金:1兆2,001億円(△2,368億円)
<ul style="list-style-type: none"> 国内残高:3,822億円(△16億円) →新株予約権付社債:300億円(+299億円) →長期借入金:404億円(△326億円) 海外残高:3,862億円(△93億円)
<ul style="list-style-type: none"> 2016年9月実施の増資により上昇

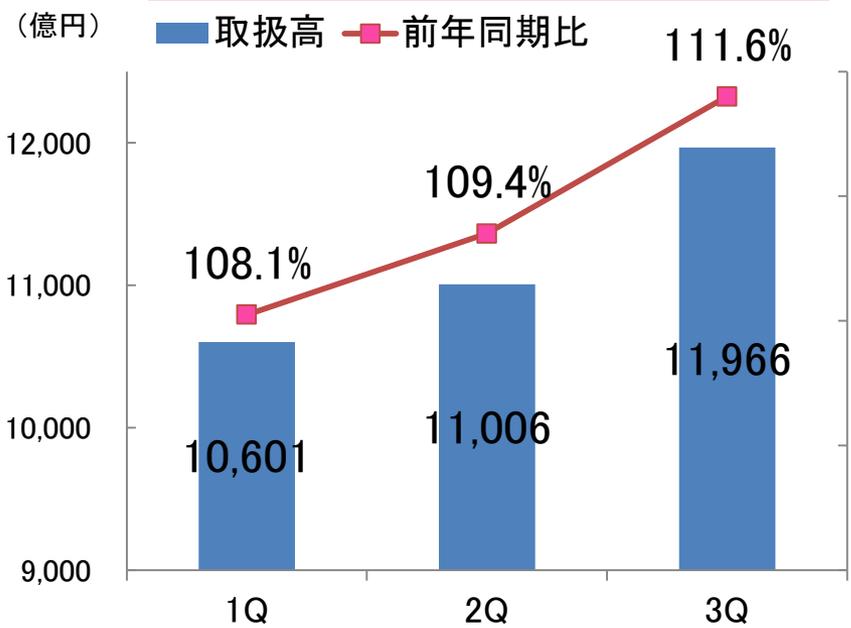
ポイント特典強化の効果

■ イオンカード発行から利用の推移

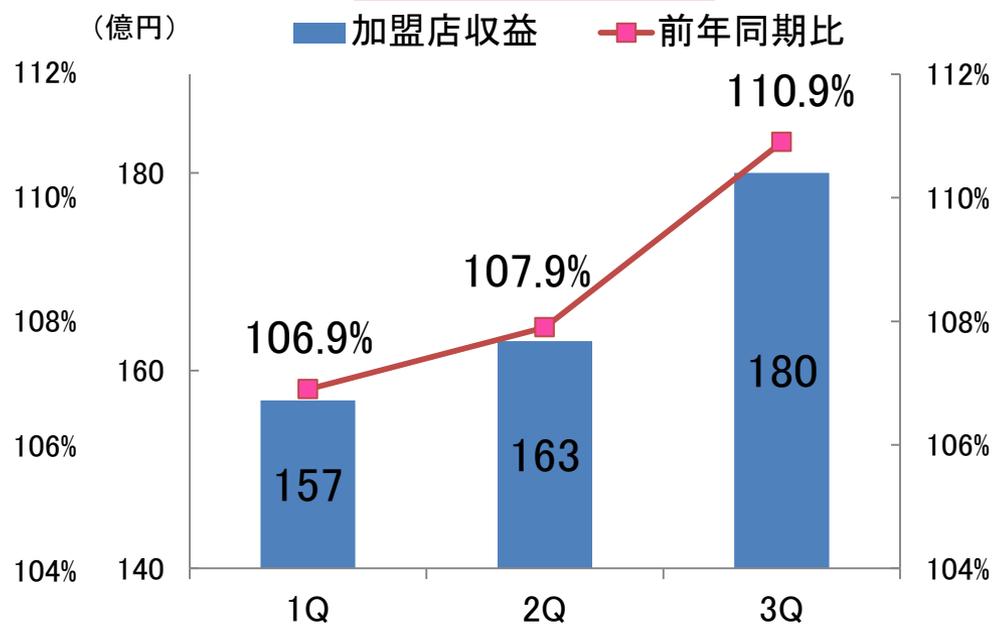


■ ときめきポイント2倍の効果

国内カードショッピング取扱高の推移

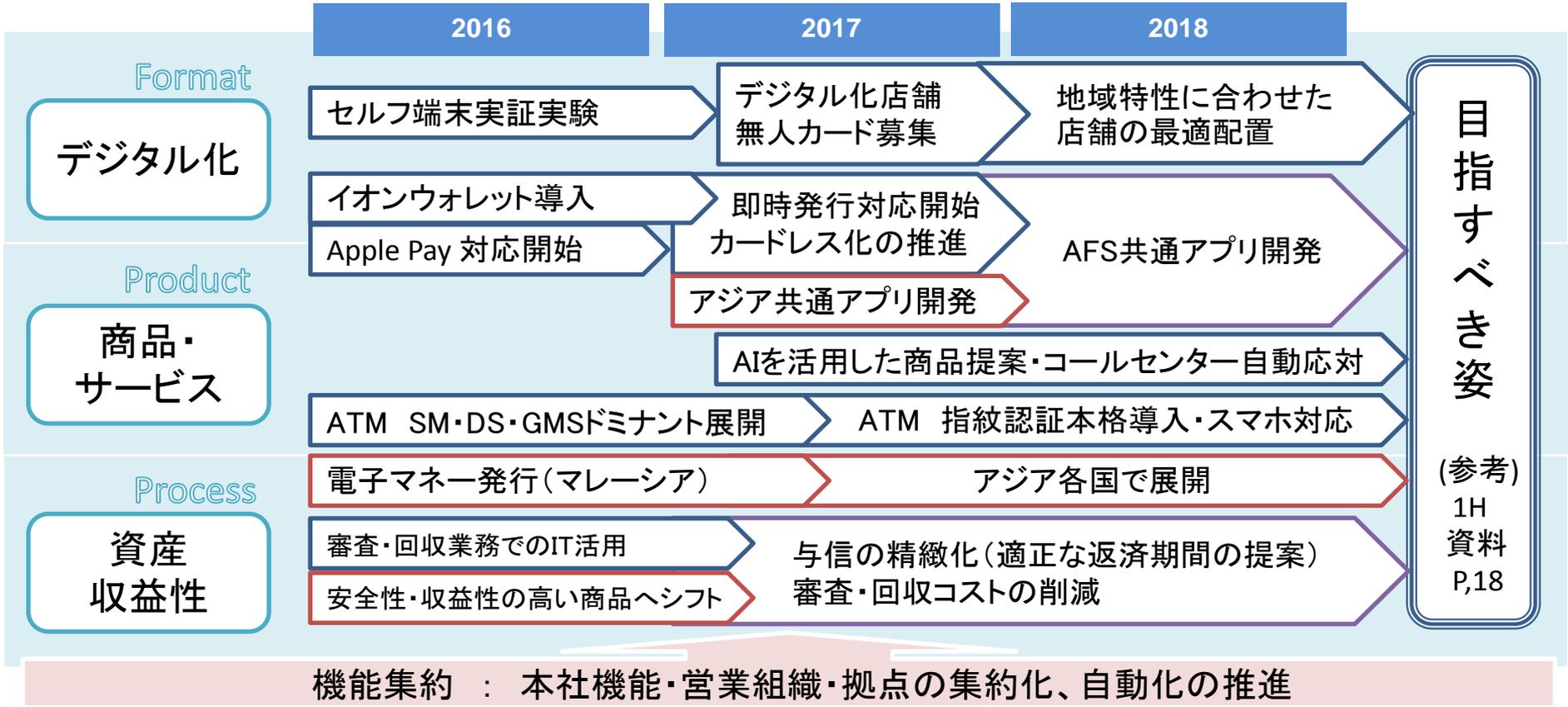


加盟店収益の推移



システムIT投資の立案と実行について

- 目的: チャンネル(有人店舗・Web・コールセンター)の一元化による金融サービス力の強化
- 主な投資先: 新技術の研究、分析機能の強化、システムの共通化



投資効果 (費用項目)	実施事項	投資効果(2018年度目標)	2016年度実績			
			1Q	2Q	3Q	1-3Q
投資効果 (費用項目)	貸倒関連費用の削減 (貸倒関連費用/経常収益)	海外: 20%('15年度比▲5pt改善)	25.6%	27.1%	27.0%	26.5%
	労働分配率の改善 (人件費/経常収益)	国内: 16%('15年度比▲2pt改善)	18.1%	17.8%	16.9%	17.6%
		海外: 11%('15年度比▲4pt改善)	15.9%	15.4%	15.2%	15.5%

2016年度 連結業績予想

- 国内:カードショッピング取扱高の継続的な2ケタ成長を図る。
カードローン新規会員への利用促進により、無担保ローン取扱高を拡大させる。
- 海外:審査の精緻化や債権回収体制の効率化を進め、貸倒費用の改善に取り組む。
構造改革により、経営の効率化を図る。

	業績予想	
	業績	前期比
経常収益	3,800億円	106%
経常利益	630億円	106%
親会社株主に帰属する当期純利益	370億円	103%
1株当たり 当期純利益	171円56銭	95%

	第2四半期末		期末		年間		配当性向	
	実績	前年同期比	予想	前年同期比	予想	前期比	予想	前期比
配当予想	29円	+1円	39円	+1円	68円	+2円	39.6%	+3.1%

(参考) 2016年度業績 (香港、タイ、マレーシア)



		FY2015 1 - 3Q		FY2016 1 - 3Q	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比
AEON CREDIT SERVICE (ASIA) (HK\$' 000)	Revenue	941,296	98%	913,043	97%
	Operating income	876,360	99%	850,308	97%
	Profit before tax	220,548	87%	275,650	125%
	Profit for the period attributable to : Owners of the Company	179,022	87%	226,007	126%
AEON THANA SINSAP (THAILAND) (BAHT' 000)	Total Revenues	13,007,546	102%	13,134,609	101%
	Income before income tax expense	2,268,498	99%	1,978,952	87%
	Net profit for the period	1,811,527	99%	1,579,250	87%
AEON CREDIT SERVICE (M) Berhad (RM\$' 000)	Revenue	706,942	—	811,113	115%
	Profit from operations	329,971	—	395,790	120%
	Profit before taxation	248,098	—	211,040	118%
	Profit for the period	160,089	—	184,974	116%

※各社発表資料より抜粋。香港とタイは連結の数値を表示。

(参考) 2016年度業績 (香港、タイ、マレーシア)



■ イオンクレジットサービス(アジア)連結業績

	2015年度3Q	2016年度3Q	
	実績	実績	前年同期比
経常収益	155億円	136億円	88%
経常利益	34億円	38億円	111%
当期純利益	28億円	31億円	112%

為替レート: 1香港ドル
 ・2015年3Q: 15.66円
 ・2016年3Q: 13.89円

決算期
 ・2015年: 3/1~11/30
 ・2016年: 3/1~11/30

■ イオンタナシナップ(タイランド)連結業績

	2015年度3Q	2016年度3Q	
	実績	実績	前年同期比
経常収益	461億円	401億円	87%
経常利益	80億円	60億円	75%
当期純利益	64億円	48億円	75%

為替レート: 1バーツ
 ・2015年3Q: 3.55円
 ・2016年3Q: 3.06円

決算期
 ・2015年: 2/21~11/20
 ・2016年: 3/1~11/30

■ イオンクレジットサービス(マレーシア)業績

	2015年度3Q	2016年度3Q	
	実績	実績	前年同期比
経常収益	219億円	213億円	97%
経常利益	65億円	65億円	99%
当期純利益	49億円	48億円	98%

為替レート: 1リンギット
 ・2015年3Q : 31.08円
 ・2016年3Q : 26.28円

決算期
 ・2015年: 3/1~11/30
 ・2016年: 3/1~11/30

※2015年度実績は遡及修正しております。

(参考) セグメント別貸倒及び国内利息返還損失引当金の推移

■ 貸倒引当金残高(セグメント別)

	クレジット	銀行	海外	ファイ	連結
期首貸倒引当金残高	275億円	32億円	150億円	42億円	494億円
貸倒関連費用 (引当金繰入・損失)	118億円	0億円	220億円	12億円	350億円
貸倒償却額 (移管債権等含む)	96億円	1億円	215億円	6億円	321億円
期末貸倒引当金残高	296億円	30億円	154億円	47億円	523億円

(国内子会社) イオン銀行:30億円、イオンプロダクトファイナンス:42億円、イオン住宅ローンサービス:12億円

■ 利息返還損失引当金残高

	2015年度第3四半期	2016年度第3四半期
期首利息返還引当金残高	48億円	42億円
利息返還損失引当金繰入額	0億円	7億円
利息返還額(キャッシュアウト・元本充当)	31億円	32億円
期末利息返還引当金残高	17億円	17億円

(参考) 2016年度業容計画 (国内)

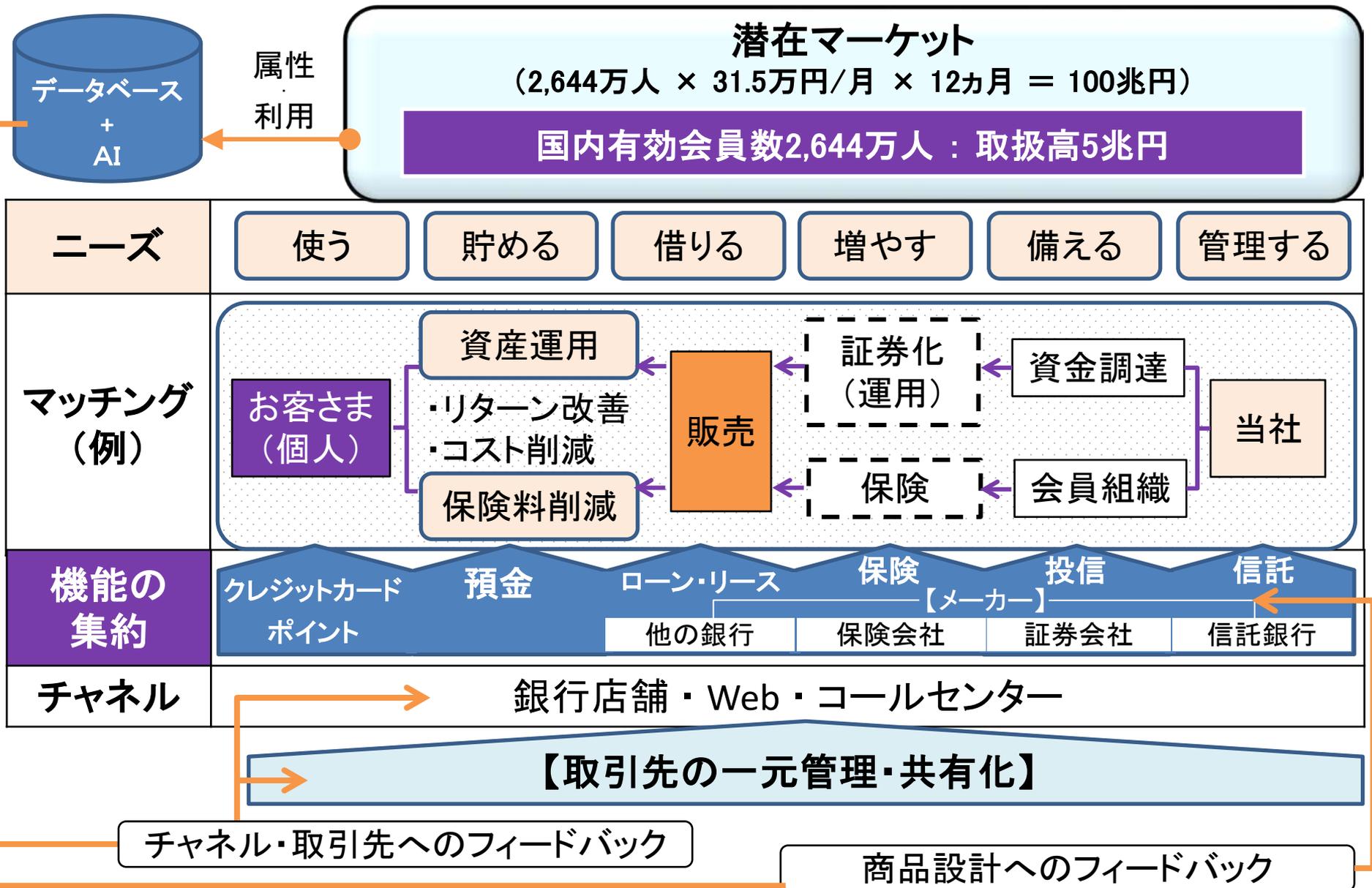
	2016年度3Q		2016年度通期	
	実績	期首比	計画	期首比
有効会員数	2,669万人	+81万人	2,740万人	+152万人

	実績	前年同期比	計画	前年同期比
カードショッピング取扱高	3兆,3,574億円	109.8%	4兆4,300億円	107.9%
電子マネー取扱高	1兆6,488億円	103.9%	2兆2,500億円	105.6%

	実績	期首比	計画	期首比
キャッシング残高	4,260億円	+204億円	4,330億円	+275億円
小口ローン残高	721億円	+103億円	850億円	+232億円
無担保ローン残高	4,982億円	+307億円	5,180億円	+506億円

(参考) 目指すべき姿

— 機能集約による金融サービス力の強化 —



本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予測等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクをはじめとする様々な不確実要素を含んでおります。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。



イオンフィナンシャルサービス